

17. デジタル技術を活用した島しよ地域の社会課題の解決

- 5GネットワークやA I等の積極的な活用により、生活環境の改善、産業振興、行政サービスの向上といった、島しよ地域の様々な社会課題を解決するためのプロジェクトを八丈島をモデルに小離島を含めた他島に順次展開し、サステナブルな島しよ地域の発展モデルを作る
- 島しよ地域における自治体クラウドの導入及び事務の共同化により、行政職員の負担を軽減し、将来にわたり安定した住民サービスを提供

デジタル技術を活用した社会課題解決

八丈島におけるモデル事業を可能なものから順次検討・実施

教育

島しよ町村小中学校における教育のデジタル化の推進

- ・EdTechサービスや、新たな教育プログラムの効果を検証
- ・一人1台の端末を活用し、オンライン学習を推進

教育・医療福祉分野での先行実施

医療福祉

島しよ地域において専門医療を受けられる体制の整備

遠隔医療の実施により、島しよ地域においても必要な医療を受けられる環境を整備

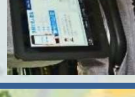
防災・インフラ



産業



交通



様々な領域での実証を展開

早期に小離島を含めた他島展開を実施し、島民生活をアップデート

サステナブルな島しよ地域の実現

将来にわたり安定した住民サービスの提供

島しよ町村事務の共同化

自治体毎にシステムを独自運用

A 島町役場 B 島村役場 C 島村役場

専門人材不足 職員採用難 行政需要増

自治体クラウドの導入 事務の共同処理

負担軽減！ 住民サービスへ注力！

3か年のアクションプラン(主要)

具体的な取組	年次計画		
	2020年度末(見込み)	2021年度	2022年度
島しよ地域におけるデジタル技術を活用した社会課題解決	八丈島をモデル地域として実証の調整	デジタル推進協議会の設立 実証事業の実施 / 八丈島での実証結果を踏まえ順次他の島へ横展開	2023年度
島しよ町村小中学校における教育のデジタル化の推進	島しよ町村小中学校のデジタル環境整備	EdTechサービス活用等のモデル事業の実施	一人1台端末を活用したオンライン学習の推進
島しよ町村における事務事業の共同処理化	基本構想の策定	実施計画の策定	自治体クラウド構築・運用支援 事務事業の共同処理等の具体的検討・順次開始

2030年への展開

- 八丈島で成果が得られた事業で、他島にも共通の課題の解決につながるものについて、横展開を実施【2025年】
- 島しよ自治体クラウドの運用及び事務事業の共同化により職員負担が軽減され、地域に根差した住民サービスが向上【2030年】
- 都内5Gエリアの構築100%概成【2030年】